

「透析患者の血液培養から検出された *Staphylococcus lugdunensis* に関する研究」について

洛和会音羽記念病院 腎臓内科では、当院で透析を受けられた患者さんを対象に以下の研究を行っております。本研究についてご質問などがございましたら、最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要と利用目的】

Staphylococcus lugdunensis は、皮膚に常在する細菌の一種ですが、ときに感染性心内膜炎や人工物に関連した重い感染症を起こすことが知られています。本研究では、当院で透析を受けられた患者さんの血液培養検査の結果（すでに診療の中で得られた情報）を用いて、この細菌がどのくらいの頻度で検出されるか、どのような病状を呈するか、どのような抗菌薬が効くか（薬剤感受性）を後ろ向きに調べます。これにより、透析患者さんの血流感染症の診断と治療の向上に役立てることを目的としています。

【研究期間】

研究倫理審査委員会の承認後～令和9年3月末まで（予定）。なお、調査の対象となる検査データの取得期間は2020年4月～2022年6月です。

【個人情報保護の方法】

本研究で用いる情報は、お名前やID等を削除し、個人が特定できないように匿名化したうえで取り扱います。情報は、鍵のついた保管庫およびパスワードを設定したパソコン・USBで厳重に管理します。

【研究への試料・データ提供による利益と不利益】

- ・利益：患者さん自身には特別な利益はありませんが、この研究結果が透析患者さんの感染症診療の向上に役立つ可能性があります。
- ・不利益：本研究では、患者さんに対する不利益はありません。

【研究終了後のデータの取り扱いについて】

本研究に関する資料・情報は、パスワード設定されたパソコンとUSB、または鍵のついた保管庫で保管します。保管する期間は、研究終了日から5年間または研究結果の報告日から3年間のいずれか遅い方とします。

【研究成果の発表について】

本研究の成果が論文や学会で公表されることがありますが、その場合も第三者に患者さんの個人情報が明らかにならないように厳重に守られます。

【研究への試料・データ使用の拒否と中止について】

本研究への試料やデータの提供を拒否・中止したい場合には下記の「問い合わせ窓口」にご連絡ください。拒否や中止のご希望があった場合、患者さんの試料・データを本研究に使用することはありません。しかし、すでに研究成果を論文などで発表していた場合には、結果を破棄できない場合もあります。また、拒否や中止を希望されても何ら不利益を受けることはありません。

【問い合わせ窓口】

本研究に関するご質問などがある場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問合わせください。

住所：〒〒607-8062 京都府京都市山科区音羽珍事町2

病院名・部署：洛和会音羽病院 腎臓・膠原病内科

研究責任者（担当者）：覚知 泰志

電話番号：075-593-4111

e-mail：kakuchi-yasushi@rakuwa.or.jp